

# 野馬土の新聞

(Web版)

2021年7月号

特定非営利活動法人  
野馬土

相馬市石上字南白髭320  
TEL.26-8437  
FAX.26-8203



## 令和3年度心の復興事業第1弾『夏色リース教室』

今年度も福島県より 県内避難者・帰還者心の復興事業補助金の採択を受け、第一弾として『夏色リース教室』を六月二十六日に開催しました。リース教室で欠かさずお世話になっている郡山市在住の相川洋子先生ご指導のもと、夏をイメージしたメッセージボードをつくりました。リース教室は毎回大人気なので、今回は午前と午後の二部開催。夏らしい涼しげな材料でつくった作品はこれからの季節のインテリアにぴったりです！コロナウイルス感染予防に十分配慮しながら、今年度も楽しい交流イベントを開催してまいります。



## 原発二十km圏内ツアー

### 職員研修

六月十四日、野馬土職員ツアーに行ってきました。三浦代表に福島第一原発二十km圏内を案内していただき、恥ずかしながら初めて見る光景や初めて知る情報に終始圧巻でした。また、三浦代表の情報量の多さ、何を質問してもすぐに返ってくる回答の速さに驚きました！震災当時のまま変わらない場所、昔の面影なく新しく生まれ変わった場所など、リアルな現地の状況を知ることができました。今後は、今年度承認された福島県の補助事業を有効活用しながら、福島県外の人だけでなく福島県民を対象とした被災地ツアーもおこない、福島の人に福島の状態を知ってもらう機会を作れればと思います。



## 東京電力福島復興本社から 処理水について説明を受けました

六月二十一日、東京電力福島復興本社による、トリチウム水海洋放出についての説明会が開催されました。東電側のスケジュールとして、二年をめどに海域モニタリングを開始しながら、処分開始時には少量の放出から慎重に進めていくとのこと。海域モニタリングは放出後も継続される計画です。さらに、放出までには実証実験として魚類などの飼育試験をおこなっていくとのことでした。福島県民が納得しないままの放出決定。二時間にわたり福島県民の今の気持ちを語り、廃炉に向けての要望をぶつけました。



## 心の復興事業第二弾 ハンドメイド教室

六月二十九日、カフェ野馬土にて『ハンドメイド教室』を開催しました。交流事業でいつもお世話になっている toocotto Wa 上田純子先生にご指導をいただき、固まるハーバリウムを使ってお花のコースターを作りました。並べるお花の位置や色合いに頭を悩ませながら、一人二枚ずつ可愛らしいコースターが完成しました。朝からあいにくのお天気でしたが、参加者さんの元気パワーで終始楽しい雰囲気での交流事業となりました。



## みんな電力・ZONZOとの懇談

みんな電力を通じて野馬土の電気を購入している株式会社ZONZOとの懇談を六月十八日にZOOMにておこないました。自己紹介のあと野馬土の活動内容を紹介しました。ソーラーシェアリングやコットン栽培事業に強い関心を示していたので、毎年秋におこなうコットン収穫にぜひ参加してみたいとの申し入れがありました。ファッショントップサイトなどを展開しているZONZOと、今後さらに交流を深めていきたいと思

